**SACLA試験利用申請用 下書き様式**

■■■■■　ページ１：基本情報　■■■■■

1．実験名　**＜入力必須＞**

1-1．日本語（最大150文字）

|  |
| --- |
|  |

1-2．英語（最大70ワード）

|  |
| --- |
|  |

2．研究分野分類および研究手法分類

2-1．研究分野分類（主たる研究分野）　**＜入力必須＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 主たる研究分野いずれか一つを選択＜選択必須＞ |  |
| □ | 原子分子光学AMO (Atom, Molecular & Optical Science) |
| □ | 生命科学BIO (Biology) |
| □ | 化学CHM (Chemistry) |
| □ | 高エネルギー密度科学HEDS (High Energy Density Science) |
| □ | 産業利用IND (Industrial Applications) |
| □ | 物質科学・材料科学MAT (Materials Science) |
| □ | 手法・装置開発MI (Methods & Instrumentations) |
| □ | X線光学XOP (X-ray Optics) |
| □ | その他Others |

2-2．研究分野分類（関連研究分野）

|  |  |
| --- | --- |
| 関連研究分野複数選択可 |  |
| □ | 原子分子光学AMO (Atom, Molecular & Optical Science) |
| □ | 生命科学BIO (Biology) |
| □ | 化学CHM (Chemistry) |
| □ | 高エネルギー密度科学HEDS (High Energy Density Science) |
| □ | 産業利用IND (Industrial Applications) |
| □ | 物質科学・材料科学MAT (Materials Science) |
| □ | 手法・装置開発MI (Methods & Instrumentations) |
| □ | X線光学XOP (X-ray Optics) |
| □ | その他Others |

3．実施する実験のタイプ

|  |  |
| --- | --- |
| いずれか一つを選択＜選択必須＞ |  |
| □ | シリアルフェムト秒結晶構造解析 |
| □ | ハイパワーナノ秒レーザー実験 |

4．実験実施に支障がある時期（最大100文字）

※対象期間：2024年9月 〜 2025年2月

|  |
| --- |
|  |

※ご希望に添えない場合があります。

※共同実験者の予定も考慮して記述してください。

※本欄記載の合計日数が30日を超える場合は具体的な理由を明記してください。

■■■■■　ページ２：共同実験者　■■■■■

5．共同研究者：ユーザーカード番号、氏名、所属

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ユーザーカード番号 | 氏名 | 所属機関名（会社、大学名等） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※共同実験者も実験責任者同様、事前にユーザー登録が必要です。Web申請時には、ユーザーカード番号の入力により、氏名/所属が自動入力されます。共同実験者のユーザーカード番号が不明の場合、氏名/所属による検索も可能ですが、共同実験者が氏名/所属によるユーザー情報検索を拒否している場合、実験責任者がユーザーカード番号を検索できません。必要な場合は、共同実験者に、ユーザー登録 > 登録内容確認/変更ページにて設定を変更するよう事前にご連絡ください。なお、採択後も共同実験者の変更は可能です。

※海外の機関に所属する方が（日本国外の国にある機関に在籍し、SACLA利用の際は海外から来訪される方）実験責任者としての応募される場合は、コンタクトパーソン（利用に係る手続き、JASRIからの問い合わせ等に対し対応が可能な方）として､共同実験者に日本国内の機関に所属する方1名以上の参画が必要です。適切なコンタクトパーソンが見当たらないような場合は、お問い合わせ又はご相談ください。

■■■■■　ページ３ 安全に関する記述、対策　■■■■■

6．安全に関する手続きが必要なもの　**＜入力必須＞**

※以下に該当する物質及び実験は、使用または実施前に手続きが必要なので、来所前に必要書類を提出してください。

|  |  |
| --- | --- |
| (該当するもの全てにチェック) | 該当項目 |
| □ | 高圧ガス容器持込み実験 |
| □ | 放射性同位元素の持込み及び使用 |
| □ | 放射性発生装置の新設及び改造、使用目的の変更、性能の変更 |
| □ | 国際規制物資（核原料、核燃料物資等）の使用 |
| □ | 法規制されている装置等の設置（高圧ガス製造施設、局所排気設備・ガス供給排気設備、クレーン等） |
| □ | 法規制されている化学物質の使用（特定物質・第一種指定物質（化学兵器禁止法）、特定毒物（毒劇法）、製造等禁止物質・石綿等（安衛法）、薬事法の指定毒物、麻薬及びその原料、覚せい剤及びその原料、大麻（樹脂）、あへん及びその原料等、向精神薬、指定数量1/5以上の危険物（消防法）） |
| □ | 特定外来生物の持込み |
| □ | 牛の特定部位の持込み |
| □ | 輸入禁止品（植物防疫法）の持込み |
| □ | 遺伝子組換え実験 |
| □ | ヒト由来材料を用いる実験 |
| □ | 高出力レーザ機器の持込み（JIS C-6820に規定するクラス4、3B及び3Rのレーザ） |
| □ | 動物（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）の持込み |
| □ | 特定生物試料（他の生物に感染性を有する生物・物質及びそれに由来するもの）の持込み（「特定生物試料」とは、病原微生物（感染性を持つ核酸・プラスミド・プリオン等を含む）、寄生虫並びにこれらの産生する毒性物質、発ガン性物質及びアレルゲン等、生物学的相互作用を通して、人体・家畜・農水産物に危害を及ぼす要因となるもの。） |
| □ | 該当なし |

7．測定試料及びその他物質(持ち込み試料だけでなくSPring-8/SACLAにおいて準備されたものも含む)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物質名※1 | 形態(形状)※2 | 量と単位※3 | 危険性　※4 | 使用目的※5 | 拡散防止及び処理方法 | 安全対策 | リスクレベル※6 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

*※1：組成も記入すること。略称不可。*

*※2：形態とは持ち込むときの状態、形状とは中の物質の状態をいう*

*（例：キャピラリー(粉末)、ボンベ(ガス)、プレート(結晶)など）。*

*※3：SI単位で記入。*

*※4：毒物、劇物、有機溶剤、特定化学物質、危険物(可燃性・爆発性)など。使用する化学物質の分類や物性が不明な場合は、下記リンク先の「事前手続き」から適切な外部サイトを参照していただけます。*

*（*[*http://www.spring8.or.jp/ja/users/safety/form\_procedure/chemistry#a-2*](http://www.spring8.or.jp/ja/users/safety/form_procedure/chemistry#a-2)*)*

*※5：測定、洗浄、冷媒、麻酔など。*

*※6：化学物質リスクアセスメント結果を入力。詳細は、下記リンク先の「化学物質リスクアセスメントについて」をご参照ください。アセスメント対象外物質の場合は、プルダウンメニューの「対象外」を入力してください。*

*（*[*https://sacla.xfel.jp/?p=10317*](https://sacla.xfel.jp/?p=10317)*)*

■■■■■　ページ４：研究の意義　■■■■■

8．研究の提案理由　**＜入力必須＞**（最大2,500文字）

※研究の背景、目的、意義、特色。SACLAにおける試験利用での実施の必要性を記載すること。

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ５：実験方法など　■■■■■

9．実験の方法

※測定法、レイアウト、使用する検出器（MPCCD Single/Dual/Octal、Rayonix MX300-HSなど）、試料などについて記載すること。標準的な実験セットアップについては[こちら(http://xfel.riken.jp/users/index.html)](http://xfel.riken.jp/users/index.html)を参照のこと。

※ご希望に添えない場合があります。

**＜入力必須＞**（最大3,000文字）

|  |
| --- |
|  |

10．使用するXFELのパラメータ

※光子エネルギー（波長）など（最大500文字）

※ご希望に添えない場合があります。

|  |
| --- |
|  |

11．持ち込む装置、器具

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 装置名 | 仕様※ | 安全対策 |
|  |  |  |

*※：電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。*

■■■■■　ページ８：画像ファイル添付　■■■■■

12．研究の目的、または内容の記述の中で使われる図表を３点まで添付できます。

注）アップロード可能なファイル形式は、JPG/JPEG, GIF, PNGで、ファイルサイズ制限は各1MBです。

Fig. 1:

Fig. 2:

Fig. 3: